



突然の休校、そして長期化 生徒は何を思い、 どう変わっていったのか



2月末に突然の休校措置が発表されてから約3カ月間、
全国の高校生が多くが学校に通うことができず、
外出自粛・在宅学習を余儀なくされました。
「学校に行く」という当たり前の日常が失われたとき、生徒たちは何を思い、
考えたのでしょうか。12名の生徒が、赤裸々に語ってくれました。

\\ インタビューに協力してくださった生徒の皆さん //

- 佐藤碧海さん 山形県立米沢東高校2年
- 平 遥花さん 山形県立米沢東高校2年
- 石井莉玖さん 横浜創英高校1年
- 小菅翔平さん 横浜創英高校1年

- 大久保芽生さん 横浜創英高校2年
- 唐澤勇希也さん 横浜創英高校2年
- 湯山龍希さん 静岡県立御殿場高校3年
- 寺尾 静さん 和歌山信愛高校3年

- 永松さくらさん 和歌山信愛高校3年
- 松村果林さん 和歌山信愛高校3年
- 齊木翔汰さん 熊本県立八代清流高校1年
- 橋口太郎さん 熊本県立八代清流高校1年

Q1

学校が突然休校になったとき、 最初に抱いたのは どのような思いでしたか？



● 勉強も部活も忙しく、肉体的にも精神的にも疲労が溜まっていたので、休校が決まったときはこれで少し休めると思い嬉しかった。

● **休校によりテストがなくなったので、正直、ラッキーだと思っ**

● テストに向けて勉強していたので、休校でテストがなくなったことはショックだったけど、一方で少しホッとした面もあった。

● **かなりショックだった。楽しい高校生活が始まるはずが休校になり、新しい友達も作りづらい状況になってしまった。**

● 最初は1〜2週間程度で再開するだろうと軽く考えており、休校自体よりも、テストがなくなることが嬉しかった。

● 感染の不安を感じながら電車通学をしていたので、電車に乗らなくてよいと思うと**ホッと**した。

● 中学校の卒業式が短縮での実施にな

り、離れ離れになる友達と最後の別れがちゃんとできないまま卒業してしまつたことに**悔が残っている**。高校も入学後1週間ほどで休校になり、新しい友達がまだできていない状況だったので不安だった。

● **部活ができなくなったのがショック**だった。活動ができなくなると大会に向けてのスタートが遅れてしまうので、他校と差がついてしまうのではないかと心配だった。

● ずっと家でゴロゴロしてられるし、「やったー！」と思った。実際、3月は遊びまくった。

● 出題範囲が広い中学最後のテストが休校で中止になり、勉強が面倒だなと思っていたので喜んだ。

● 最初は嬉しい気持ちがあったけど、休校が決まったときはまだZoomなどのオンラインツールを使ったことがなかったのだから授業や生徒会活動などは**どうなるんだろうという不安も少しあった**。

● 休校で自宅学習だ、課題だと言われる**あまり実感がなく**、最初はゲームばかりしていた。



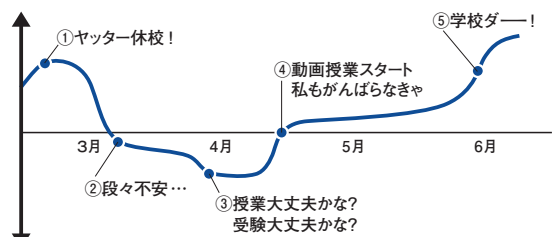
学校での何気ない会話が 原動力だったと気づく

和歌山信愛高校3年生 松村果林さん

休校が決まったのはテスト直前。テストがなくなることに衝撃を受けつつ、正直、嬉しい気持ちもありました。しかし、休校が長引くにつれて、勉強が間に合うだろうかという不安が大きくなっていきました。休校中は毎日、オンラインで健康状態や学習時間を確認するアンケートに回答していたのですが、友達の学習時間を見ては「私もがんばらな

きゃ!」と刺激を受けていました。そして何より、みんなに会いたいという気持ちが膨らんでいきました。休校になって改めて感じたのは、学校での友達や先生との何気ない会話が自分の原動力になっていたんだということ。みんなで過ごす当たり前の日常が幸せだったんだと気づかされました。今はただただみんなと会って、話したいです。

松村さんの3月からのモチベーショングラフ



- ① 大変だった補習も小テストも中止! ちょっと嬉しい。
- ② 授業だいぶ遅れて段々不安に...
- ③ 新学期も休校。受験生になるのに大丈夫かな。
- ④ オンラインで友達と情報交換。焦る。私もがんばらなきゃ! 登校日、楽しい!
- ⑤ 勉強への意欲がフツフツと。日々の当たり前が大切だって気づいた

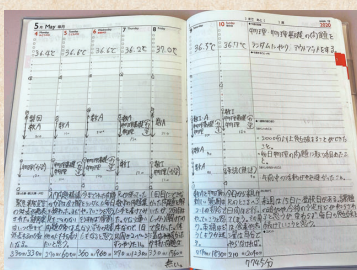


ペースが乱れなかったのは、手帳でPDCAを回せたから

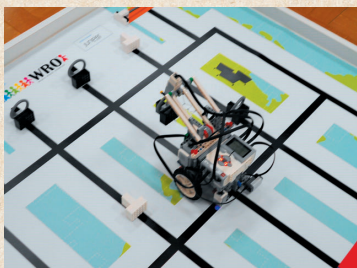


御殿場高校3年生
湯山龍希さん

メカトロ部に所属して部長を務めているのですが、3～4月は夏に開催される大会に向けて活動を始める大事な時期なので、休校が決まったときは部活ができなくなるのが何よりもショックでした。勉強面でも不安が募ってきた矢先に、夏の大会の中止が決定。目標を失ってしまい、心が折れそうでした。とはいえ、大学受験が控えているのでいつまでも落ち込んではいられず、気持ちを切り替え、生活面でも自分なりのルーティンを決めて、勉強に力を入れるようになりました。不安や焦りを感じながらもペースを乱さずに動けたのは、学校で使ってきた手帳を休校中も使い続けたことが大きかったと思います。PDCAサイクルを回しながら、自分自身を整理することができました。



1日の学習内容や学習時間、振り返り、次に向けての思いなどがびっしりと書き込まれた手帳。



メカトロ部ではWRO (World Robot Olympiad)への出場を目指し、自律型ロボットの制作に励んでいる。

● 休校が長引くにつれて、**友達と会えなくて寂しい**気持ちは募ったけど、学校が始まったら大変なこともあるので、休校自体は嬉しかった。だんだん、**勉強しなきゃ**という気持ちにはなった。

● 行き先が見えず、**広がる感染への不安**もあった。プリント課題に取り組んだものの、**難しくても誰にも聞けず、モヤモヤ**が募った。

● 休校が延長されて最初は嬉しかったけど、**暇すぎて気持ち**がダレていった。5月にテストが行われることになり、勉強をしなきゃという気になった。以前は周囲に頼っていたけど、**自立を意識して行動**するようになった。

● 他の人たちがどれくらい勉強しているかわからないなかで、**自分はちゃんとできているのか**が客観的にわからず、**不安や焦り**を感じるようになった。

● 授業動画が配信されたが、通常の授業とは違ってその場で質問ができないのは**ストレス**だった。

● **学校に行けずテストも受けられない**という状況のなかで、**自分がどれくらい理解できているか**という**指標がなく、学力が低下しているのではと不安**になった。

● 生活習慣を意識するようになり、家事なども進んでするようになった。

● 課題でこれまでの復習はできても新しい分野は学べないので、**遅れが心配**になった。

● 入学式もなく高校生になった実感がなくて**だらだら**していたが、このままじゃ**バイ**と思い始め、**スタディサプリ**を使って**予習**を始めた。

● G W明けからはオンラインで授業が始まったが、5月からで間に合うのだろうかという**不安**があった。

● 自分で計画を立てて自主的に勉強することが自分にとって**こんなに難しい**ことだったんだと気づいた。

● 一部の科目でオンライン授業が始まり、生活・メンタル面も学習面も**少し安定**した。

● 休校期間を周囲と差をつけるチャンスと**ポジティブに捉える**よう努め、勉強に力を入れるようになった。

● **オンライン授業で先生とリアルタイムにつながれた**ときには、**予想以上の安心感**があった。学べる環境があることを**ありがた**いと思った。

● 先生方からの**メッセージ動画**が配信され、**すごく励み**になった。

その後、当初の思いや受け止め方、もしくはご自身に**変化**はありましたか？

Q2



● 勉強に部活にと毎日が忙しくて、以前はそれをしんどい、面倒くさいと感じることもあったけど、休校になって授業も部活もなくなり、忙しい方が自分には合っているんだと気づいた。

● 以前は学校があまり好きではなかったけど、休校になって初めて、学校があったからこそみんなと交流したり、部活仲間と高めあったりできていたんだと気づいた。

● 7時間授業を受けた後に部活や生徒会の活動があったりして、本当に毎日が大変だったけど、それさえ懐かしく感じるほどに早く学校に行きたいと思った。

● 気持ちに張り合いがないからか、学校の授業だとできることが自宅だとできなかったり時間がかつたりすることがあり、学校という場の力を感じた。

● テストや課題は嫌だったけど、それがあることだがんばっていた面もあったと気づいた。学校の大切さを感じた。

● 友達とも先生とも、面と向かって話ができない話があることを改めて感じた。

● 休校中もオンラインで先生や友達とつながれたことで安心感があったが、どこかで寂しい気持ちがあった。楽しいことも嫌なことも含めて毎日いろんなことがある

● 学校生活が好きだったんだと気づいた。

● 勉強面だけでなく生活面でもリズムが崩れてしまい、学校に行くということがいろんな意味で自分の支えになっていたのだと気づいた。

● ずっと家にいるのはストレスだった。以前は宿題などに追われて学校に行きたくない日もあったけど、学校に行つて友達と話すことでストレスが発散されて心の平穏が保たれていたことに気づいた。

● 自宅でも勉強はできるけど、わからないことがあったときに自分だけで解決するのは難しく、先生にすぐに聞ける学校の環境はすごく大事だしありがたいと思った。

● 学校に行きたいという気持ちが日に日に強くなり、自分はこんなに学校が好きだったんだと気づいた。オンラインだと先生の個性や授業の楽しさがイマイチ伝わらない。先生の面白い話が恋しい。

● 行けなくなつて初めて、学校に普通に行けることってすごいことなんだと思った。これから当たり前前に感謝して生活したい。

● 顔を合わせて話ができる場というのは大事だと思った。オンラインとはやっぱり空気感が全然違う。

Q3

学校に通うという当たり前の日常が失われたことで改めて気づいたことはありますか？



「行かないといけない場所」が「行きたくてたまらない場所」へ

横浜創英高校2年生 大久保芽生さん

休校になった当初は嬉しかったのですが、生徒会として準備を進めていた入学式が中止になったところから、行事やさまざまな活動ができなくなるのではないかと不安や悲しみの方が強くなっていきました。それでもできることからやろうと、所属する児童文化部では自主的にオンライン部活を始め、新入部員の募集期間にはオンライン体験会も

実施しました。もともと学校は好きでしたが、私にとって学校は「行かないといけない場所」でした。それが突然「行きたくても行けない場所」になってしまい、ありがたさを痛感しました。いろんな人と交流したり、好きなことに熱中したりできたのは、学校という場があったから。学校が再開したら、会ってこそできる話をいっぱいしたいです。



オンライン部活では、子どもたちの前で披露する出し物の台本について話し合った。



Students Voice

長かった休校期間も
もうすぐ終了…
学校が再開したら、何がしたい？

みんなでいっぱい話しながら
お昼ごはんを食べたい！
ワイワイ言いながら体育がしたい！
(和歌山信愛高校)

永松さくらさん



寺尾 静さん

松村果林さん

授業の進度や大学入試など
心配なことはいろいろあるけど…
部活を1日も早く再開したい！
(御殿場高校)



湯山龍希さん

友達を増やしたい！
オンラインの方が話しやすいけど、
やっぱり仲が深まるのはオフライン。
(八代清流高校)

橋口太郎さん



斉木翔汰さん

みんなといっぱいしゃべりたい！
早く仲間と部活がしたい！
授業中に寝ないようにがんばる(笑)！
(米沢東高校)



平 遥花さん

学校行事などがどうなるかわからないけど、
みんなでこれからのことをいっぱい話し合い、
自分たちができるところを探していきたい。
(横浜創英高校)

石井莉玖さん



唐澤勇希也さん

佐藤碧海さん

生徒たちの声や期待に、
学校は、教員は、
どう応えていきますか？



大久保芽生さん

小菅翔平さん

